

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立住之江小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立住之江小学校 令和 7(2025)年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では学校教育目標を「豊かな人間性と 確かな学力を身につけた たくましい子どもの育成」とし、これまで人権教育を基盤とした集団育成を進めてきた。その中で、自尊感情を向上させることが、学力の向上を含めた総合的な人間性の成長に繋がると捉え、様々な取り組みを続けている。また、児童理解を深めるために、必要に応じて外部機関とも連携を取りながら、教職員間の共通理解をはかっている。

しかし、現状としては、基礎・基本的な学力、基本的な生活習慣に課題を抱える児童が多い。これは、全国学力学習状況調査、大阪市小学校学力経年調査や学校アンケートからも明らかになっている。ただ、校内で経年比較したものでは児童の成長に伸びがみられ、これまでの取り組みの成果である。

基礎・基本的な学力の定着に向けては、体験的な活動を取り入れ、経験を通した学びから豊かな感性を育み、学びに向かう力を高めていく必要がある。また、児童が「楽しい」と感じる授業を展開するために、教師の指導力向上に努めていく必要がある。基本的な生活習慣の育成に向けては、自立した生活態度について児童へ指導するとともに、保護者への働きかけも行っていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 42%以上にする。
- 毎年度の小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 令和7年度において、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42%以上にする。
- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立住之江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 校務支援システムを活用しながら児童の登校確認を行い、遅刻等については個別に応じた指導を含めた対応を行う。不登校傾向の児童については、保護者と連携しながら、組織的な対応を行う。	
指標 遅刻・不登校についての対策会議（「人権教育推進全体会」等）を毎月行う。（年11回）	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 人を大切にし、相手の気持ちを考えて行動できる児童を育成する。	
指標 思いやりや親切、友情、信頼について考える学習・活動を学期に1回取り組み、成果と課題について人権教育推進全体会で報告する。また、必要に応じて取り組みの現状について共有する。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 在日外国人の立場を理解できる児童や在日外国人として胸を張って生活できる児童を育成する。	
指標 各学年、ソンセンニムによる課内実践を年1回行う。	

<p>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】  お互いに理解しあい、差別に立ち向かう児童を育成する。</p>	
<p>指標 様々な社会的立場についての人権教育の学習に年 1 回取り組む。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 2 豊かな心の育成】  お互いに理解しあい、高めあえる児童を育成する。</p>	
<p>指標 全校たてわり班活動では、各学期に 1 回、集団作り活動としての学校行事を行うとともに、年 15 回たてわりの集会を行う。また、学年でピアサポート活動に取り組む。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立住之江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的で深い学びを追求した授業を構築する。</p> <hr/> <p>指標 国語科の授業研究を各学年で年1回実施する。</p> <p>全教職員が授業研究を伴う校内研修(1人1授業)を実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体を動かすことが楽しいと児童が感じる取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標 運動委員会による、休み時間に子どもたちが体を動かすような取り組みを年3回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康の保持増進のための取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標 「手洗いがんばり週間」を学期に1回、「歯みがきカード」を年1回実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康の保持増進のため、食育についての取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標 給食週間を年に1回、栄養教育推進事業を各学級に年2回実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

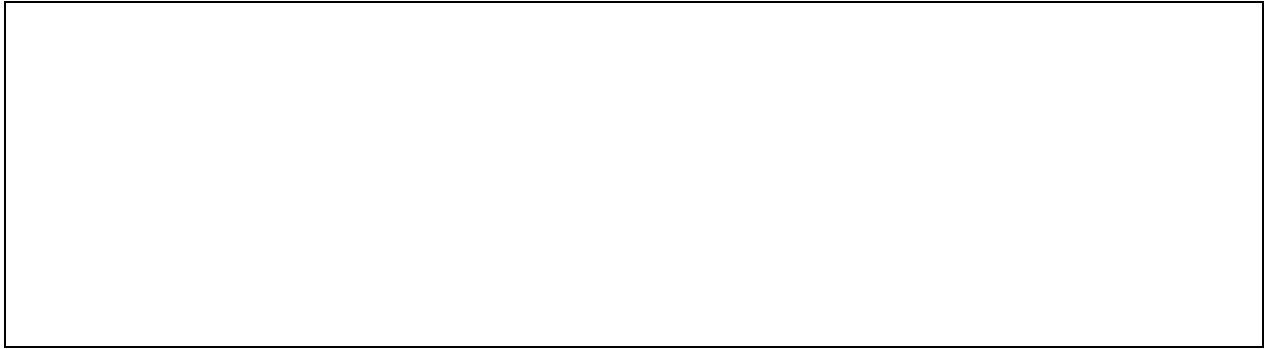


## 大阪市立住之江小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕 ○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b> 1 人 1 台端末の環境を生かし、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用することで、子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する。 ----- <b>指標</b> ICT の活用に関わる研修会を、年 2 回実施する。	
<b>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 教職員一人一人の資質を高め、持てる能力を存分に発揮できる環境を構築するため、教職員の働き方改革を推進する。 ----- <b>指標</b> 週 1 回「ゆとりの日」を設定し、その日は 16 時以降に半数以上の教職員が参加する会議や研修等を実施しない。（15 分未満の終礼・打合会を除く。設定できない週があった場合は、2 週間以内に 2 回設定する。）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



(様式 3)

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立住之江小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

## 2 年度目標ごとの評価

年度目標：	
年度目標：	
	<ul style="list-style-type: none"><li>•</li><li>•</li><li>•</li><li>•</li></ul>

### 3 今後の学校園の運営についての意見

--